

「川がいい。海でも山でもなくて、川がいい。」

「この世界ってさ、

“浮かぶもの”と“沈むもの”に分けたら、

“沈むもの”の方が多んじゃないかって——。」

STORY

熊本・球磨川を舞台に描く「生命」をめぐる物語

生後間もない息子を亡くした瑞波(37)は、失意のなか、10年ぶりに故郷である熊本・八代に帰省する。瑞波は幼なじみの恵介と良太に久しぶりに再会し、3人で豪雨災害による傷跡が残る球磨川を巡り始める。川を前にして語られる、それぞれが「あのとき」見たもの。3人はそこで、不思議な現象を目の当たりにする。

あの子の 夢を

遠山昇司監督による6年ぶりの長編映画最新作

映画監督、アートプロジェクト・芸術祭ディレクターなど、多彩な才能を発揮し、熊本を舞台に「喪失と再生」の物語を描き続けてきた遠山昇司。

令和2年7月豪雨を受けて制作された
長編第3作『あの子の夢を水に流して』。

水に

流して

主演は、『決戦は日曜日』(22)などの注目作に出演が続く内田慈。

舞台、映画、ドラマをはじめ、

声優、ナレーターなど幅広い分野で活動している彼女が、

球磨川を見つめ「生命」と向き合う。

共演には、NHK朝の連続テレビ小説『おかえりモネ』での記者役などで

注目の俳優・玉置玲央が助演、

そして熊本出身のベテラン俳優・中原丈雄、

劇団「快快-FAIFAI-」の俳優・山崎皓司、

アーティストでもありながら遠山作品の常連となった加藤笑平など多彩な顔が揃う。

プロデューサー：小山真一、武田知也

照明：高木英貴

ヘアメイク：池上ゆき

音楽：志娥慶香

VFX：おかもとみき

照明助手：寺岡将吾

制作：小森あや

絵画：民佐穂

主題歌：玉井夕海

撮影監督：森賢一

録音：尾方航

スタイリスト：キクチハナカ、まなべかずこ

編集：加藤信介

撮影助手：野中拓也

美術協力：北澤岳雄、加賀谷静

タイトルデザイン：吉本清隆

短歌：池田翼

宣伝：平井万里子 配給：bench



anoko-no-yume.com

twitter.com/anokono_yumewo



2023年5月20日(土) ユーロスペースほか全国順次公開

初日舞台挨拶、上映期間中にトークイベント開催

全国共通特別鑑賞券 ¥1,400-(税込)

当日料金：一般1,800円/大学・専門学校生1,400円/会員・シニア1,200円/高校生800円/中学生以下500円

渋谷駅下車・Bunkamura前交差点左折

ユーロスペース
EUROSPACE

渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F
TEL:03-3461-0211 eurospace.co.jp



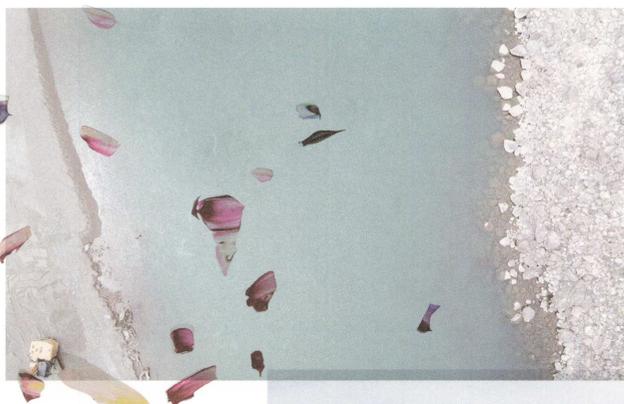


第12回
パウネアーリオ・コンボリウー
国際映画祭
最優秀監督賞
最優秀演技賞

第28回コルカタ国際映画祭
アジアンセレクト部門
正式出品



あの子の
夢を
水に
流して



中 加 山 玉 内
原 藤 崎 置 田
丈 笑 皓 玲 慈
雄 平 司 央



脚本・監督
遠山昇司

The River Breathes